

事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人支えてネットワーク

事業概要

新型コロナウイルスが全国各地で猛威を振るい、相次ぐイベントや会議の中止など、そうせざる負えない状況の中での活動。

そんな中でも、居場所の利用や、家族・本人からの相談は続き、当法人を必要としてくれている人達に対し、私達ができる事・求められる事は何だろうと、スタッフ一同利用者と共に考えながら何とか活動を続けてきた。

また、「8050問題」を始め多様化するひきこもりに関する課題はまだまだ置き去りにされる傾向にあり、社会問題としても深刻化している。

当法人では、これまでの関わりの中から、ひきこもる本人と一緒に、家族も苦しみ、共に孤立している状況が起こっていると感じている。どこにも相談できずに孤立している、そんな人達を家族ごと支える仕組みが必要だと考え、今年もこれまでと同様必要な事業を実施した。

具体的な実施状況

1) 相談支援プログラム

ひきこもりからの回復のきっかけがつかめず、困っている人たちに対し、ひきこもり状態から抜け出すためのきっかけや入口として、電話・来所による相談を開所日であれば常時受け付けている。

また、毎年行っているひきこもりサポート事業の研修会（公開講座）は、今年も山口市社会福祉協議会からの委託事業として実施した。

(1) 相談支援活動

①訪問サポートの実施

対象者：3名（1名は山口市サポーター派遣事業）

訪問回数：派遣事業（9/30～再開1名）8回（延べ）

家族の定期面談2名、21回（延べ）

訪問サポーター登録者：9名

②相談業務

相談者数（延べ）：

属性	人数
新規	33
継続利用者	87
関係機関	11
不明・匿名	10
合計	141

相談件数（延べ）：

種別	回数
電話	45
来所	66
メール	12
訪問・出張	18
合計	141

③なごみの風研究会（ケース検討など）

開催回数：年間／12回

参加者数：68名（延べ）

(2) ひきこもりサポート事業

日時：7月12日（日）13:30～15:30

会場：山口市小郡地域交流センター

内容：演題「ひきこもりのご家族のための生活設計」

講師：(株)FPオフィス縁

代表取締役 中村 恒瑛 氏

対象：ひきこもりの家族など

参加者：34名



個別相談会 ～ 受講希望者の中から個別相談を実施

7月25日（土）

8月9日（日） 合計5組

ファイナンシャルプランナー2名、スタッフ2名で対応

(3) 家族塾

家族として本人にどう関わればいいのかを実際の生活場面を想定しながら具体的に考えていく場として実施した。

	日時	参加者
1回目	8月8日（土）	11名
2回目	11月14日（日）	13名
3回目	2月13日（土）	12名



(4) 外部研修及び会議の参加

<講師派遣>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	人 数
1/13 (水)	令和2年度ひきこもり家族教室	山口健康福祉センター	山口健康福祉センター	13名
2/25 (火)	第2階山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会研修	社会福祉法人山口市社会福祉協議会	セントコア山口	35名

<研修及び会議の参加>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	参加者
8/24 (月)	令和2年度山口市地域福祉推進協議会	山口市健康福祉部地域福祉課	山口市役所	1名
10/7 (水)	令和2年度山口防府圏域ひきこもり支援者ネットワーク会議	山口県山口環境保健所	山口健康福祉センター	1名
12/14 (月)	「令和2年度赤い羽根テーマ募金」実施団体認定式	社会福祉法人山口県共同募金会	山口県社会福祉協議会	1名
12/15 (火)	就職氷河期世代等へのアウトリーチ支援 見学	宇部総合相談センター	宇部市地域福祉指導監査課	2名
3/27 (土)	WORK Café「ビジネスマナー」	はあとホーム小郡南	和の家	5名

2) 居場所づくりプログラム

生活リズムを整える目的や、次へのステップへの休養や体力作りなど、居場所機能としての和の家。様々な社会体験やレクリエーションなどを通じ、家族以外との関係づくりとして、スタッフや仲間との交流などを体験できる場としている。

今年度は、全体83%にあたる19名が、居場所の継続利用、作業所・デイケアへの移行、就労（アルバイト含む）など、ひきこもり状態から本人なりの社会参加を実現している。

(1) 開設日

開設日 年間／209日

(月・火・木・土曜日／週、第1日曜日／月)

(2) 利用者数

	利用者登録	利用者数 (延べ)	備考
一般	8	189	
障がい者デイサービス (日中一時支援事業)	15	267	
その他	—	74	家族・関係者
合計	23	530	

スタッフ数：有給466人（延べ）、無給（ボランティア含む）241人（延べ）

(3) 利用者の状況

性別

属性	人数
男性	18
女性	5
合計	23

年代

属性	人数
10～20代	6
30代	3
40代	10
50代以上	4
合計	23

令和2年度利用者の変化

属性	人数
居場所利用継続	3
作業所・デイケアへの移行	7
就学・就労（アルバイト含む）	9
中断、不明	4
合計	23

全体83%にあたる19名が、居場所の継続利用、作業所・デイケアへの移行、就労（アルバイト含む）など、ひきこもり状態から脱して本人なりの社会参加を実現した。

(4) 内容

① 集団プログラム

<外出プログラム>

コロナ禍の中、利用者との話し合いで行けそうな外出先を見つけながら出かけており、それぞれの活動を楽しむことが出来た。

開催回数：年間／14回 参加者数：49名（延べ）

<料理の日>

メニューの決定から材料の買い出し、調理や後片付けなど、利用者で協力して行い、季節のメニューなども取り入れ、みんなとの食事会を楽しんだ。

開催回数：年間／1回 参加者数：5名（延べ）

<ボランティアの日>

和の家周辺の道路沿いなど、地域でのゴミ拾いを実施している。社会奉仕活動の意識を育み、協力しながら作業することの大切さなどを経験できた。

開催回数：年間／17回 参加者数：50名（延べ）

<その他>

クリスマス会やゲーム大会などの季節行事やレクリエーション行事を参加者と企画しながら実施した。

開催回数：年間／3回



参加者数：26名（延べ）

② レディースデー

女性限定の日として、利用者やお母さん、ボランティアスタッフなどが参加している。ランチづくりや女性ならではのプログラムを実施し、毎回ストレス発散の場と言いながら参加されている方もいる。

開催回数：年間／7回（毎月第1日曜日10：00～）

参加者数：46名（延べ）



<ネイル体験>



<書道教室>

③ 年間イベント

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、花見やなごみフェスタは中止とした。

3) 就労支援プログラム

就労を希望する人達にとって、安心して就労体験のできる場、体力作りや人間関係の広がり、人付き合いの練習ができる場である。

農作業などの実際の作業を体験するとともに、定期的にSST（社会生活技能訓練）を取り入れ、実際の場面を想定して人との会話を練習し、利用者とのやりとりなどで実践し、振り返りにつなげていくこともできていた。

<事業内容>

① ヤギの現地点検

防府市の「株式会社いきものがかり」の協力で、メガソーラーで除草のため放牧しているヤギの健康チェックの依頼を受け、週3回ヤギの健康状態に異常がないかチェックしている。草だけでは栄養が不足するためエサや水を与え、ソーラーパネルにヤギが上がっていないかの確認作業を行った。動物が相手に癒される部分もあるが、命を預かることでもあり責任を感じる作業であった。

作業日：月・木・土／週（4月～10月）

作業日数：年間／74日

参加者数：182人（延べ）



② 農作業（うり作業含）

和の家に隣接する畑を活用し、季節ごとの野菜を栽培する農作業を行っている。また、岩国市の「有限会社みかわ」の依頼で、奈良漬けに使ううりの栽培も行っており、植え付けから収穫、箱詰め出荷作業を行った。

作業日：適宜／年

作業日数：年間／78日

参加者数：246人（延べ）



③ その他（環境整備、室内作業、リサイクルなど）

作業日：適宜

作業日数：年間／25日

参加者：76人（延べ）

④ SST (ソーシャルスキルズトレーニング)

就労に向けての対人関係や集団行動を上手に営んでいくために、テーマを設けて実際の場面を想定した会話練習などを行った。

実施日：第1、3土曜日

実施日数：年間／14日

参加者数：52人(延べ)



⑤ 配食サービス

就労体験として配食サービスの調理補助や配達などを行って、職場でのコミュニケーションなどを実際の作業を通して学んだ。

(秋穂地区内の高齢の一人暮らしのご家庭などに、お弁当を配達する配食サービス事業「ほほえみランチ」)

実施日：火・木曜日

実施日数：年間／60日

参加者数：60人(延べ)



4) その他

昨年度にスタートした「山口市ひきこもり支援者ネットワーク」を継続して実施し、支援力を高めるための研修会や相談時に活用できるリーフレットの作成などを行った。

広報活動の中では、居場所などの利用につながっていなかったり、家族相談のみの段階の方にアプローチできるよう、メールマガジンでの情報発信を継続した。

(1) 関係機関、団体との連携

① 山口市ひきこもり支援者ネットワーク

日付	内容
5月21日(火)	今年度の事業計画について
7月14日(火)	勉強会：ひきこもり支援の実際 講師 NPO法人ふらっとコミュニティ 山根 俊恵 氏
9月8日(火)	同上
11月10日(火)	事業紹介：山口市社会福祉協議会、ブルーライトやまぐち 下半期の事業についての検討
12月8日(火)	勉強会：発達障害の理解 講師 認定NPO法人やまぐち発達臨床支援センター 理事長 川間 弘子 氏
1月12日(火)	相談時リーフレットの内容検討
3月17日(火)	次年度の事業計画について

<構成団体>

- ・NPO法人ドリームファクトリー
- ・小郡まきはら病院
- ・カケルタス
- ・パーソナル・サポートセンターやまぐち
- ・ブルーライトやまぐち
- ・山口健康福祉センター
- ・山口県健康増進課
- ・山口市社会福祉協議会
- ・山口県福祉総合相談支援センター 精神保健福祉部
- ・山口市障がい福祉課・地域福祉課
- ・認定NPO法人支えてねネットワーク

② その他の団体・企業との連携

団体名	内容
たのSEA秋穂づくり協議会	秋穂ふれあいまつり (中止) あいお祭り参加 (中止)
吉南病院	文化祭参加 (中止)
山口市市民活動支援センター「さぼらんて」	運営相談、指導など
KHJ山口県きらら会	情報交換など
株式会社いきものがかり (防府市)	就労支援協力

団体名	内 容
有限会社みかわ（岩国市）	就労支援協力
合同会社（山口市）	就労支援協力
有限会社いしだクリーニング（山口市）	就労支援協力
ブルーライトやまぐち	発達障害啓発協力など

（３）広報活動

- ・和の家通信発行 年間／３回（３，０００部）
- ・ホームページ Facebook での情報発信
- ・メールマガジンでの情報発信
- ・チラシやパンフレットの作成・配布

（４）理事会の開催

年間／５回（４月２８日、５月１６日、８月２５日、１２月２２日、３月２３日）

（５）ファンドレイジング

①「支え人。」プロジェクト

- ・有限会社 寿司やす 様 「寄り添う心プロジェクト」

② 寄附付き自動販売機

寄附付き自動販売機を個人・協力企業に設置してもらっている。

- ・道中 寿男 様
- ・(株) あいお 様
- ・(株) 山本工業 様

③ 助成金の申請など

- ・WAM助成 ～ 600,000 円
「ひきこもりとその家族を支え孤立させない事業」
- ・赤い羽根「県域テーマ募金」 ～ 503,700 円
「ひきこもりとその家族を支え孤立させない活動」
- ・秋穂地区社会福祉協議会
「福祉活動助成金」 ～ 250,000 円
- ・(株)セールスフォースドットコム ～ ソフトウェア使用
- ・日本財団助成金 ～ 不採択

④ うりうり募金プロジェクト

瓜を育てて地域も育てる仕組み作りを目指し、「うりうり募金プロジェクト」を今年度も実施した。協力の呼び掛けに対し、5名の生産者の協力を得て1,200kgのうりの募金を受けた。

協力生産者：5名

出荷（募金）量：1,200kg

約96,651円相当の支援があった。



⑤ 配食サービス事業

秋穂地区内の高齢の一人暮らしのご家庭などにお弁当を配達する配食サービス事業「ほほえみランチ」を行って2年目、皆さんに喜んでいただいている。

実施日：火・木曜日

実施日数：年間／100日

人数：配食利用者2884人（延べ）

